

のま  
野間文芸賞

主催：(財)野間文化財団 発表：11月上旬

正賞：賞牌 副賞：賞金 300万円

対象：新聞、雑誌、単行本などに発表された小説、評論、ノンフィクションなど（非公募）

特徴：講談社の初代社長・野間清治の遺志により 1941年に創設された。「野間」の名を冠した賞に、野間文芸翻訳賞、野間文芸新人賞、野間児童文芸賞などがある。

## 【主な受賞作】

- 第7回(1954)『山の音』川端康成
- 第19回(1966)『黒い雨』井伏鱒二
- 第42回(1989)『孔子』井上靖
- 第58回(2005)『半島を出よ』村上龍



【第61回受賞作】  
『宿屋めぐり』町田康/著  
(講談社 2008)

みしまゆきお やまもしゅうごろう

三島由紀夫賞・山本周五郎賞

主催：(財)新潮文芸振興会 発表：5月下旬

正賞：記念品 副賞：賞金 100万円

対象：【三島賞】文学の前途を拓く新鋭の作品（公募）

【山本賞】すぐれて物語性を有する新しい文芸作品（非公募）

特徴：新潮社と縁が深かった三島由紀夫と山本周五郎を記念して 1987年に創設された。三島賞は小説、評論、詩歌、戯曲を対象とし、山本賞は小説のみを対象としている。

## 【三島賞・主な受賞作】

- 第3回(1990)『世紀末鯨鯢記』久間十義
- 第16回(2003)『阿修羅ガール』舞城王太郎

## 【山本賞・主な受賞作】

- 第6回(1993)『火車』宮部みゆき
- ★ 第14回(2001)『白い薔薇の淵まで』中山可穂



● 山本賞 ●



【第20回受賞作】  
『夜は短し歩は短し』  
森見登美彦/著  
(角川書店 2006)

たにざきじゅんいちろう

谷崎潤一郎賞

主催：中央公論新社 発表：『中央公論』11月号誌上

正賞：時計 副賞：賞金 100万円

対象：小説および戯曲（非公募）

特徴：中央公論社が創業 80年を記念して 1965年に創設した。中堅作家の代表作ともいえる作品に贈られるため、その時代の読むべき文学作品がそろっていると評価の高い文学賞。

## 【主な受賞作】

- 第2回(1966)『沈黙』遠藤周作
- 第11回(1975)『一休』水上勉
- 第27回(1991)『シャンハイムーン』井上ひさし
- 第37回(2001)『センセイの鞆』川上弘美



【第42回受賞作】  
『ミレーナの行進』小川洋子/  
著（中央公論社 2006）



作家の名前を冠した文学賞には、ここで紹介した賞のほかに「菊池寛賞」「司馬遼太郎賞」「柴田錬三郎賞」「川端康成文学賞」「泉鏡花文学賞」などがあります。